



北小だより

札内東学園
幕別町立札内北小学校
Makubetsu Satsunaikita
Elementary School

令和7年12月24日
No.10

札内東学園の目指す子ども像 行動＜表現＞する子ども

「まなび からだ・こころ ふるさと」 ☆7つの目標:返事・あいさつ・あとしまつ・学習・運動・時間・言葉づかい

冬休みも、やるべきことをやった後の幸せをぜひ

いよいよ明日から1/13(火)まで20日間の冬休みが始まります。比較的時間に追われることのない長期の休みは、子供たちにとって「自分を鍛え、自分を律する」絶好のチャンスです。

人は誰でも休みたい、遊びたい、何かが欲しい等の様々な欲求をかかえながら生きています。その欲求と自分がすべきこと(学習や仕事等)を天秤にかけ、今何をするべきかを判断し、実行することが自律です。自律の経験を積み重ねてこそ自立につながります。

学習をめいっぱいやらせてください。遊ぶのはその後です。すべきことを先に済ませることの経験を習慣にさせてください。子供の時からこの経験を積み重ねると、その後の人生で増えてくる「様々な欲求に打ち勝つ力」が高まります。

家の手伝いをどんどんさせてください。特に雪国の冬は、しんと雪が降り積もったら、お子さんに声をかけ、ぜひ、雪かきを一緒になさってください。北海道の自然の厳しさを受け入れ、汗を流し、知恵を働かせることでこの地で暮らすたくましさを備えさせます。たとえ小さな力でも何度もくり返すことで、「確実に物事が片付いていく喜び」を味わいます。多少の失敗や遅さは待ってあげて下さい。やれば必ずできるようになりますから。やらなければ、いつまでもできません。人にやってもらえることが当たり前と思ってしまう。お手伝いは、自立や社会参加に向けてとても大切な家庭教育なのです。

除雪により安全が確保された道路や玄関先、清掃の行き届いた部屋は、いつも誰かが用意してくれるのでしょうか。家族の一員として汗を流し、知恵を働かせる習慣を身に付けた子供は幸せだと思います。生涯を通して、人や社会に貢献する喜び、自分で何かを切り拓いていく楽しさを追求していくことにつながるからです。

子供は、大人と違い、生活経験がとても浅いものですから、最初から上手にはできませんが、そのうちできるようになります。手を使い、頭を使い、身体や心も使うお手伝いは、大切な家族の一員としての気持ちが高まります。「ありがとう、助かったよ。」とねぎらい、「家族の一員として、役に立つことの喜び」を実感させてあげてください。

「幸せな気持ち」や「充実感」は、すべきことをした後こそ手に入ることを学ばせることで、がんばりのきく、根気強さを備えた人に育っていくことでしょう。

来年の干支は、午(うま)年。「行動力を高めることで、良い運を引き寄せる年」という意味合いをもつ年とされています。

事故等に気を付けて、良い冬休みとなりますように。



札内東学園の取組 6年生の札内東中学校登校2回目

12月19日(金)には、第2回目の中学校登校が行われました。本校6年生の事前アンケート結果では、中学校生活への不安感が66.3%(昨年度は71.7%)あり、この不安感を少しでも期待感へ高めることを主な目的に中学校登校を実施しています。

今回は、白人小6年生との交流も大きな目的とし、国語科の授業体験の他に、クイズによる交流やドッジボールを行いました。中学校登校は1月30日(金)(新入生説明会)にも予定されています。



国語科の授業風景
授業は、白人小の
6年生と一緒に受
けました。

12/14 町PTA 連合会研究大会講演会「食べることは生きること〜未

講師：株式会社 しんかーず 管理栄養士 油 谷 裕 子 氏

略歴：音更町出身。1995年に管理栄養士免許を取得した後、十勝管内の福祉施設や病院で在宅訪問の栄養食事指導に携わる。病院勤務の管理栄養士として月数回の指導では限界があると感じ、継続的な食事療法を提供したいと、「しんかーずランチ」をスタート。現在も「食を通して健康的に生活できるよう地域に啓発していきたい」と御活躍中。



講師の油谷裕子氏

2つの話を賜りました。1 現代の多種多様な食生活の中で、子供の朝食の欠食と生活習慣病の増加、若い女性のやせ、中高年男性の肥満やカルシウムと食物繊維の不足からなる疾病が問題視されるとともに、子どもの頃の食生活が大人になってから様々な影響をもたらし、健康生活の妨げになることが増えてきている状況のお話。2 子供たちが健やかに育ち、健康生活を継続するために子供が食に関する知識を身につけ、バランスのとれた食事を子ども自ら選択する力を育てるために大人が伝えていくべき食育についてのお話でした。

📞 いじめ、学校に行けない、親子関係、様々な悩みを相談できます。

北海道教育委員会 子ども相談支援センター相談窓口 0120-3882-56(24時間 **無料**)

メールでも相談ができます。sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

(名前を言わなくても相談できます。秘密も守られます。どんなことでも気軽に相談してください。教育相談を専門とする職員が対応します。24時間いつでも相談できます。)

24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310(**無料**)でもかけられます。

がんばる北小っ子!!

★子供たちのがんばりを紹介します。(敬称略)

○第41回釧路市長杯争奪少年団大会兼道東少年団交流スケート大会

小学2年女子500M 第1位 有働 芭琉、小学2年女子300M 第2位 有働 芭琉

○第56回全十勝少年団柔道大会兼第43回全十勝女子柔道選手権大会

個人戦男子小学1年生の部 第3位 宮田 航成

○児童詩誌『サイロ』12月号 入選 5年 山崎 颯真、若原 桜奈

○令和七年度第二回日本漢字能力検定 8級 2年 今城 朝陽

○第18回音更選抜バレーボール大会 優勝 白人シャイニング 5年 嶋木 彩心、4年 梅本 虹幸、
3年 嶋木 太一

○幕別町標語コンクール 佳作 6年 保苅 未来、6年 市川 愛莉

北小の子供たちの活躍を紹介します。大会やコンクール等で入賞した際は、ぜひ報告してください。

